

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加賀市立橋立中学校（石川県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①

- ・ 進捗チェックシートとして利用（スプレッドシート）

1年数学	学習進捗チェックシート	おたすけボタン	学年	1
単元名： 比例と反比例		<input type="checkbox"/>	組	A
			番号	10
目安	確認	学習課題	教科書問題	わかる数学
	<input checked="" type="checkbox"/>	・関数の意味を知ろう。	P 113～P 117	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・変域の意味と表し方を知ろう。	P 117～P 118	<input type="checkbox"/> P 80～P 81
	<input checked="" type="checkbox"/>	・比例の意味を振り返ろう。	P 119～P 120	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・yをxの式で表して、yがxに比例するかどうかを調べよう。	P 120	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・反比例の意味を振り返ろう。	P 121	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・座標について知ろう。	P 177	82～P 83

生徒が自分の進捗に応じて、自分のチェックシートに入力する。

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
1	ファイルを表示	62.1%																					
2	ファイルを表示																						
3	ファイルを表示																						
4	ファイルを表示																						
5	ファイルを表示																						
6	ファイルを表示																						
7	ファイルを表示																						
8	ファイルを表示																						
9	ファイルを表示	58.6%																					
10	ファイルを表示	58.6%																					
11	ファイルを表示																						
12	ファイルを表示																						
13	ファイルを表示																						
14	ファイルを表示																						
15	ファイルを表示																						

教師用の管理ファイルに生徒ごとの進捗がリンクされ一覧で表示される。

学習の進捗状況の見取りをおこない、生徒一人一人の支援につなげることができた。

- ・ 調べ学習やまとめ学習に利用（デジタルホワイトボードソフト、スライド）

【公民】 地方自治
『「消滅可能性都市からの脱却」～加賀市が打つべき次の一手とは～』

【消滅可能性都市からの脱却】 4班が加賀市に提案したい政策案

私たちが提案する政策名（キャッチフレーズ）
・簡単な説明を記入する

消滅可能性都市とは... 他都市と比較したときの加賀市（特徴・良い点・課題となる点など） 解決の視点

グループで調べ学習
課題解決学習

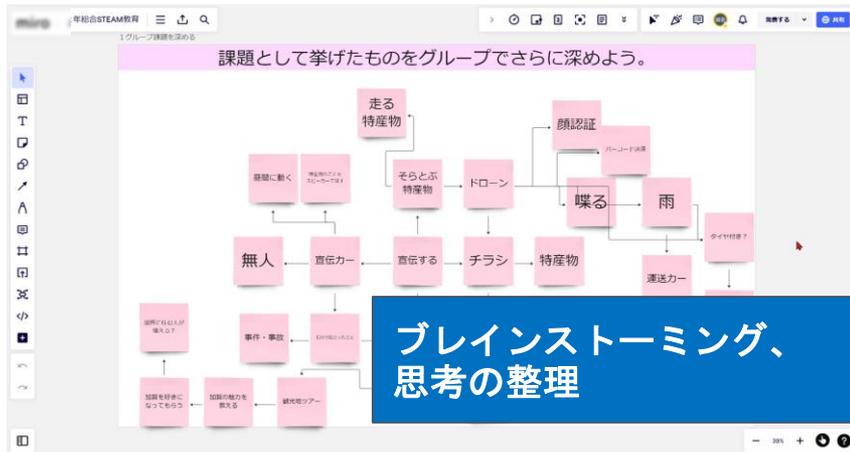
4班：○○○○・△△△△・◇◇◇◇・□□□□

今日は、橋立立と前立前影の撮影をしました。撮影のときに、前立前影のカメラの角度を上げる、ゆっくり動かし、手ぶれをなくして、手ぶれをなくして撮影することを意識しました。でも、顔を手の前について撮影することが難しく、なかなかきれいな映像が撮れませんでした。撮影のときに、意識して撮影の角度を調整して、きれいな映像が撮れるようにしました。撮影のときに、顔を手の前について撮影することが難しく、なかなかきれいな映像が撮れませんでした。撮影のときに、意識して撮影の角度を調整して、きれいな映像が撮れるようにしました。

マット運動の録画データを毎時間スライドに貼り付け、コメントで振り返りを入力

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用②

・ 個人思考からの意見交換やグループ学習に利用（Jamboard等デジタルホワイトボードソフト）



・ 課題の配付や資料の整理に利用（クラスルーム）



13:50 (最終編集: 14:00)

学習の進め方やヒント、使えるツールなどを提示

★地方自治の学習について②★
 学習を進める中で活用できるツール（一例）

- ①チャット（Googleアプリ）
 ...グループごとにチャットスペースを作りました。意見交流を活発に行い、準備を進めていこう。
- ②フォーム（Googleアプリ）
 ...アンケートを実施し、集計する時に役立ちます。
- ③共有ドライブ（Googleドライブ）
 ...グループで収集した資料を保存しておくフォルダです。自分のグループのフォルダに保存してください。
 共有ドライブ→【社会科】地理・歴史・公民→R5社会科（3年生）→【公民】地方自治→班のフォルダ
- ④...
 ...授業内で活用できる生成AIです。アイデア出しや調べる際に活用してもよいです。ただし、活用できる時間が設定されていますので、注意してください。



【取組内容②】 インターネット上の動画教材を活用し、自律的な学び手を育てる工夫（1年 数学科）



問題の解説動画を見て、自分の解き方を確認している。動画なので、分からない所や詳しく知りたい所は繰り返し視聴できる。

友達と相談しながら、解説動画を視聴している。自然と対話生まれ、学びが深まる場面も見られた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加賀市立橋立中学校（石川県）

【取組内容②】 Web会議ツールを用いて、市役所の担当者と政策内容を吟味（3年 社会科）



(単元のゴール)

消滅可能性都市からの脱却を目指して、加賀市が取り組むべき政策について考え、グループごとに発表用スライドを作成し、加賀市の方にプレゼンする。

Web会議ツール「meet」を活用し遠隔地と中継を結ぶ。加賀市役所の担当者に質問を投げかけたり、話を聞いたりして政策内容を吟味。（複数回実施）

授業の終末に、家庭学習として進めた方が効率的な学習と、授業中にWeb会議や生徒同士対面で進めた方が良い学習を確認する時間を取り、次時につなげる。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加賀市立橋立中学校（石川県）

【取組内容⑤】 生成型AIとの向き合い方を学ぶ授業を市内に普及するための工夫

①学校DXアドバイザーの大西先生の視点で、生成型AIの授業実践を行った教師からDC視点の要素を聞き取り、市内の小学校で実施する授業案の作成を依頼。



②大西先生のDC授業（橋立中学校の内容を含めたもの）を市内の2つの小学校において実施。

- ・橋立中学校での生成型AIの活用事例を交え、これから生成AIは社会で普通に使うようになることを知る。
- ・身近な題材を用いて、生成型AIの便利な点、留意する点に気付かせる。
- ・「デジタルと向き合っていくこと」をデジタルシティズンシップということを知る。
- ・教育座談会を通して、保護者とGIGAスクール構想について話し合う機会もつ。

